

運営推進会議及び
介護・医療連携推進会議 議事録

日 時：令和7年12月8日(月) 13:30～14:30
場 所：福の神 1階 地域開放室
参加者：○大町町会長_今井様 ●運営推進会議副委員長_上野様 ○四柳町会長_藤田様 ●金丸出町民生委員_太田様
※白○は欠席 ●ご家族様_森様 ●地域識者_川口様 ○地域識者_三門様
●地域包括支援センター_畠様 ●中能登町役場保健師_森口様 ●中能登町長寿福祉課主幹_宿谷様 ○前川医院_前川様 ○藤田医院_藤田様
●訪問看護ステーションあわら_小堀様 ●介護センターほのぼの_池田様 ○らいず訪問看護ステーション_石田様
●弘和会理事長_松本 ○羽咋事業部部長_森川 ●TH・GH・CN福の神管理者_北出 ●ライフサポート村友管理者_川端 ●コールナウ福の神_堀下 ●事務_古永

議事録作成：古永

以上 14名

報 告： ① 利用者登録状況報告

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画	0	0	要支援2	0	0.0%
累計計画	18	18	要介護1	4	22.2%
実績	0	0	要介護2	6	33.3%
累計実績	18	18	要介護3	4	22.2%
契約解除	0	0	要介護4	2	11.1%
予約者	25	24	要介護5	2	11.1%
進捗率	100.0%	100.0%	合計	18	100.0%

	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画(延人数)	66		要支援1	1	50.0%
実績	38		要支援2	2	40.0%
計画(人)	1		要介護1	2	40.0%
累計計画	28		要介護2	0	0.0%
登録累計(人)	5		要介護3	0	0.0%
新規	1		要介護4	0	0.0%
契約解除	0		要介護5	0	0.0%
合計			合計	5	100.0%

※共用デイは10月を以て休止
とさせていただきます。

たきのーほーむ福の神			介護区分別利用者状況			要介護度別実績報告			R7.10月			R7.11月		
	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合		通い	訪問	宿泊	通い	訪問	宿泊		
計画	0	0	要支援1	0	0.0%	要支援1	0	0	0	0	0	0		
累計計画	29	29	要支援2	0	0.0%	要支援2	0	0	0	0	0	0		
実績	0	1	要介護1	12	42.9%	要介護1	138	607	35	161	500	55		
累計実績	28	28	要介護2	9	32.1%	要介護2	154	418	62	145	442	60		
契約解除	1	0	要介護3	4	14.3%	要介護3	66	82	31	63	145	30		
予約者	2	1	要介護4	3	10.7%	要介護4	70	21	55	44	26	35		
進捗率	100.0%	96.6%	要介護5	0	0.0%	要介護5	0	6	0	0	0	0		
			その他更新中	0	0.0%	合計	428	1134	183	413	1113	180		
			合計	28	100.0%	一日平均	13.8	36.6	5.9	13.8	37.1	6.0		

コールナウ福の神			介護区分別利用者状況		
	R7.10月	R7.11月	区分	人数	割合
計画	2	2	要支援1	0	0.0%
累計計画	25	25	要支援2	0	0.0%
実績	0	2	要介護1	9	52.9%
累計実績	15	17	要介護2	3	17.6%
契約解除	1	0	要介護3	4	23.5%
予約者	0	0	要介護4	0	0.0%
進捗率	60.0%	68.0%	要介護5	1	5.9%
			その他更新中	0	0.0%
			合計	17	100.0%

ボランティア受け入れ状況		
	人数	延べ人数
R07.4	1	1
R07.5	2	2
R07.6	2	4
R07.7	3	6
R07.8	4	4
R07.9	2	2
R07.10	1	1
R07.11	2	2

*ライフサポート村とも就労定員状況報告

	R7.10月	R7.11月
利用計画	560	580
登録者数	24	24
新規獲得	0	0
中止者数	0	0
延べ利用者数	246	209
開所日数	23	20
日平均	10.7	10.5

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
年齢別表	0	4	4	4	5	7	24

	男性	女性	合計
男女比	19	5	24

工賃	R7.10月	R7.11月
工賃総額	¥194,785	¥134,385
平均工賃	¥18,211	¥12,859

	R7.10月	R7.11月
人数	0	0
延べ人数	0	0

・コールナウ福の神 報告

事例を1件報告させていただきました。がんを患っており、残されたわずかな時間は、ご本人の『先に亡くなったご主人がいる自宅に帰りたい』という思いのもと、退院後は自宅に帰られコールナウの利用が始まりました。娘さん達の希望により、ご本人には余命を伝えないという方針で支援させて頂きました。帰宅後は、毎日ご近所の方や親戚の方が会いに来られ、とても賑やかでした。
徐々に体力も低下し、ご本人も病状の変化を感じておられる頃、大阪に住んでいる娘さんとお孫さんが泊まり込みで献身的に介護されたこともあり、薬で痛みが軽減したこと、娘さんやお孫さん達と過ごす毎日が楽しかったおかげか、うのようにどんどん元気になりました。
当初は、自宅で最期を迎えたいというご本人の希望でしたが、最終的には娘さんやお孫さんの暮らす大阪で最期を過ごすことを選ばれました。
看取りと言え自宅で、と思っていましたが、『誰と過ごしたいか』を優先することも重要だと改めて感じました。様々なサービスや地域、家族の協力があれば不可能なことはないのかと思います。

⑤日々の活動報告ダイジェスト



おぐら座にて



紅葉を見に



干し柿作り



余喜地区防災訓練



ご夫婦です